

目的：産業及び観光の振興について
中心市街地の整備について

視察：（ハレまち通り（旧：県庁通り））の取組



（岡山市の概要）

平成 21 年 4 月 1 日、全国で 18 番目の政令指定都市（当時で人口約 70 万人）

岡山城を有する旧城下町、県庁所在地、中国地方東部の中心地、商業集積地

以下、配布資料の数字による

人口：715740 人（令和 5 年 10 月 1 日現在）

面積：789.95k m²（令和 5 年 10 月 1 日時点）

明治 22 年市制施行、以降周辺自治体と合併を続ける。



築 50 年を超えた岡山市庁舎、現在、裏手に移設建て替え中



村松委員長と山下副議長



庭園都市課より説明

(施策の説明)

中心市街地全体に賑わいをもたらす方策 (約 1 km 四方)

(駅前と、デパート商店街を結ぶ)

(ハレまち通りの取組)

2 車線一方通行通りを、1 車線一方通行通りに改編
歩道の拡幅、車道の端に自転車走行空間を設置する
歩道には街路樹、

この事業に関して、平成 27 年度以降、2 年間の社会実験、1 年間の連続フォーラム、2 年間のデザインミーティングを重ね、令和 2 年度より事業を開始、今日の利用に至っている。工事を担当したのは、「庭園都市課」で、庭園という呼称は岡山ならではのものという。

実施後、27 店舗が新規、入れ替えを含めた数字。飲食店やアパレルが進出

店舗による歩道側に 1m にオープンスペースを認めるが、オープンカフェはまだ 5 軒に限られる。理由は、既存の建物部分も利用することが必要なためと説明あり。

(所感)

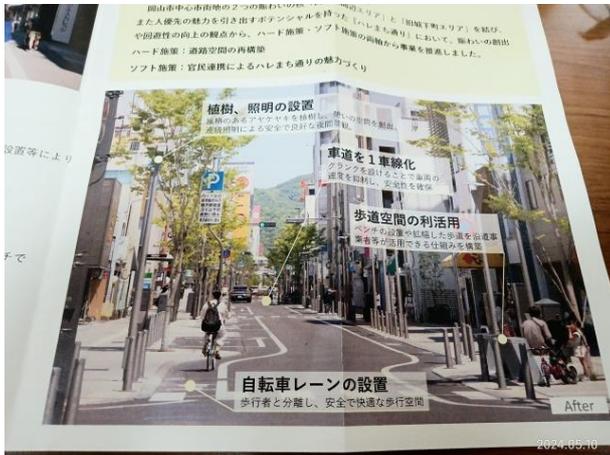
質問で、旧来からの商業集積地である地元のデパート天満屋前まで、この 1 車線一方通行通り化は、想定されなかったかと尋ねる。

答弁では、この事業がまだまだ広域、伝統的な商業集積地までは理解されず、現状の実施区間に限定されているとの説明であった。

当初目標の事業が完了したことで、その事業成果が事業者、取引業者、消費者に理解が広まり、さらに、上記のエリアまで拡大されることが期待されるものでしょう。

また、旧来は 2 車線片道通行であったことで、その道路を使った店舗の荷捌きが行われていたと考えるが、現在はどのようになっているかを尋ねると、ところどころに駐車区画を設置し、店舗の荷捌きに供しているという。それによって利便性は確保されているということであった。*

写真で確認、



なお、他の委員より、自動車駐車場に関する質問があり、駐車場の設置制限はなく、旧来の駐車場がそのまま利用されているが、一部に出入りがしにくくなったという意見はあるが、おおむね反対論は出ていないというものであった。

さて、岡山市は中心部にも大きな道路が基盤上に展開しており、かつ、地面が平坦なことがあって、自転車が多く見られた。

また、いただいた資料の中に、岡山市は通勤時間が短い(25.3分)という特徴が記してあった。政令指定都市20市の中で、5位と言うものであった。そうした、利便性、ゆとりが岡山らしい都会像ができることを期待した。

*参考：自分で撮影朝の光景のメモと写真(及び、動画アドレス)

総務常任委員会の視察で昨日岡山市に入る、朝の岡山駅からの通勤・通学風景 2024.05.10
ブログ記事転載



道路の向こう側の歩道を歩く人が木陰越しに見える

町田市議会総務常任委員会の視察で昨日岡山市に入る、朝の食事時、岡山駅からの通勤・通学する人たちの風景、遠景ですがこれくらいのスピードが本来の気がする 2024. 05. 10

岡山駅近くのワシントンホテルに宿泊しました。朝食の時間、外を眺めると、ちょうど、駅から通勤・通学の人たちが歩くところが見えました。多くの方が同じスピード、緩やかな感じで目的地の向かっており、せかせか間をぬって駆け抜ける人も見当たらず、こうしたペースが仕事にも学習にも向いているような気がする。新宿駅や東京駅あたりの方が歩くスピードが良いとはとても言えない。かと言って、自分が新宿駅や東京駅あたりを歩くときに、緩やかペースで歩けるかと言えば、そうはいかないだろう。

<https://youtu.be/B7m656I8x64>